

産科と婦人科 第91巻 総目次

令和六年
2024年

通し頁一覧表

1月号	1 ~ 112	5月号	489 ~ 608	9月号	969 ~ 1084
2月号	113 ~ 216	6月号	609 ~ 736	10月号	1085 ~ 1204
3月号	217 ~ 352	7月号	737 ~ 848	11月号	1205 ~ 1316
4月号	353 ~ 488	8月号	849 ~ 968	12月号	1317 ~ 1428

— 特 集 —

▶ 1月号・産婦人科診療ガイドライン婦人科外来編 2023改訂のポイント
— 感染症・女性医学編 — ◀

I. 感染症

1. クラミジア子宮頸管炎, 淋菌感染症, 梅毒, カンジダ外陰膺炎の
診断と治療は? 宮崎博章 5
2. 性器ヘルペス, 外陰尖圭コンジローマの診断と治療は? 出口雅士 11
3. 膣トリコモナス症, 細菌性膺症, 骨盤内炎症性疾患(PID)の
診断と治療は? 早川智 15

II. 女性医学

4. 低用量経口避妊薬(OC), 低用量エストロゲン・
プロゲステン配合薬(LEP)を処方するときの説明は? 福原理恵・他 19
5. SARS-CoV-2感染者におけるOC・LEP, HRTの使用の注意は? 篠原康一 23
6. 子宮内避妊用具(IUD)・レボノルゲストレル放出子宮内システム
(LNG-IUS)を装着する時の説明は? 川崎薫 27
7. 緊急避妊法の実施法とその留意点は? 小澤伸晃 31
8. 月経前症候群の診断・管理は? 小川真里子 39
9. 女性アスリートの診療上の留意点は? 宮国泰香 45
10. ホルモン補充療法(HRT)の有害事象についての説明は?
更年期の精神症状に対する薬物療法はどのように行うか? 寺内公一 51
11. 更年期障害に対する漢方治療・補完代替医療はどのように行うか? 西尾永司・他 55
12. 骨粗鬆症を予防するには? 閉経後骨粗鬆症の診断と治療開始,
薬物治療は? 五十嵐敏雄 61
13. 骨盤臓器脱の診断と治療は? 佐藤誠也 69
14. パートナーからの暴力を疑った時の対応は? 性暴力を受けた女性への
対応は? 性虐待が疑われる女兒への対応は? 種部恭子 75
15. 性別不合(性同一性障害)のホルモン療法の取り扱いは? 中塚幹也 82

▶ 2月号・産婦人科診療ガイドライン産科編 2023改訂のポイント ◀

1. 出生前検査としての染色体検査・遺伝子検査の実施上の注意点は? 馬詰武 117
2. 胞状奇胎についての注意事項は? 田中博明 123
3. 頸管無力症など, 流早産ハイリスク妊婦の抽出とその対応は?
切迫早産の診断と管理の注意点は? 富松拓治 127

4. 常位胎盤早期剥離(早剥)の診断・管理は？	山口宗影・他	133
5. 妊娠高血圧症候群の診断と対応は？	入山高行	139
6. 単胎骨盤位の取り扱い？	光田信明・他	143
7. 帝王切開既往妊婦が経産分娩(trial of labor after cesarean delivery : TOLAC)を希望した場合は？	松岡隆	149
8. 吸引・鉗子娩出術，子宮底圧迫法の適応と要約，および実施時の 注意点は？	兵藤博信	153
9. 分娩誘発の方法とその注意点は？分娩誘発を目的とした頸管熟化・ 拡張法の注意点は？	牧野真太郎	159
10. 子宮収縮薬投与時の注意点は？	中田雅彦	163
11. 産褥精神障害の取り扱い？	西郡秀和	167
12. 急激に発症・悪化し，妊産婦死亡を起こしうる合併症は？	早田英二郎	173
13. 一絨毛膜双胎と関連する病態への対応は？	石井桂介	177
14. 出生直後の新生児呼吸循環管理・蘇生については？	福嶋恒太郎	183
15. プレコンセプションケアにおける留意点は？	長谷川ゆり・他	187
▶ 3月号・婦人科がん化学療法の進化—最適レジメンと管理を考える— ◀		
I. レジメン選択に関する検査		
1. 子宮頸がんにおけるPD-L1検査	村岡枝里香・他	221
2. DNAミスマッチ修復機能低下の検査	藪野彰・他	227
3. 卵巣がんにおける相同組換え修復欠損検出検査	尾堀佐知子	235
II. 子宮頸がん初回治療		
4. 同時化学放射線療法による初回治療時の化学療法レジメン	馬屋原健司・他	241
5. 広汎子宮全摘出術後の補助化学療法—化学療法・CCRT—	古澤啓子	246
III. 再発・進行子宮頸がん		
6. ペムブロリズマブを含む多剤併用療法—ベバシズマブはどう使う？—	平澤猛	250
7. セミプリマブはどう使う？	久慈志保・他	263
IV. 子宮体がん		
8. 子宮体がん初回治療—術後の補助化学療法の選択—	野村弘行	273
9. 進行・再発子宮体がん治療—ペムブロリズマブをどう使う？ レンバチニブとの併用は？—	温泉川真由	279
10. 妊孕性温存，進行体がんにおける高用量MPA療法のポイント	北澤晶子・他	283
V. 進行上皮性卵巣がん・卵管がん・腹膜がん		
11. 進行上皮性卵巣がん・卵管がん・腹膜がんの初回化学療法 —conventional TC か dose-dense TC か？ ベバシズマブを 併用する？—	池内香子・他	289
12. 進行上皮性卵巣がん・卵管がん・腹膜がん初回化学療法後の腫瘍残存 症例—1) プラチナ感受性症例へのPARP阻害薬の選択は？—	鶴田智彦・他	295
13. 進行上皮性卵巣がん・卵管がん・腹膜がん初回化学療法後の腫瘍残存 症例—2) プラチナ抵抗性腫瘍への化学療法選択は？—	高取恵里子・他	303
VI. その他の悪性腫瘍		
14. 卵巣胚細胞腫瘍に対する化学療法レジメン—難治性・再発例も含めて—	玉内学志・他	311
15. 子宮肉腫に対する化学療法レジメン選択の基本的な考え方	竹原和宏	316
16. 絨毛がんに対する多剤併用療法のレジメン選択	片山恵里・他	321
▶ 4月号・子宮摘出と機能障害・機能温存・機能再建アップデート ◀		
I. 子宮全摘後の機能障害		
1. 子宮全摘後の骨盤臓器脱	古山将康・他	357

2. 子宮全摘後の排尿障害・排便障害	関山 健太郎	364
3. 子宮全摘後の卵巣機能・性機能障害および腔断端離開	馬場 聡	369
4. 子宮全摘時のエネルギーデバイスによる尿管損傷	荻島 大貴	374
II. 様々な子宮全摘と機能温存		
5. 腹式単純子宮全摘	富尾 賢介	381
6. 広汎/準広汎子宮全摘術・広汎子宮頸部摘出術(トラケクトミー)	川名 敬	387
7. 全腹腔鏡下子宮全摘術	吉越 信一・他	393
8. vNOTESを用いた鏡視下子宮全摘	羽田 智則・他	400
9. ロボット支援下腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術	安彦 郁・他	406
10. 腹腔鏡下子宮腔上部切断術	伊熊健一郎・他	411
11. 帝王切開時の子宮摘出—Porro手術 vs. 子宮全摘—	杉本 充弘・他	418
III. 術式別の機能再建		
12. 腹腔鏡下仙骨腔固定術(LSC) & ロボット支援下仙骨腔固定術(RSC)	大木 慎也・他	425
13. 腔式子宮全摘術と腔式骨盤臓器脱手術(native tissue repair) —その有用性と手技上のtips and tricks—	永田 一郎	433
14. vNOTESを用いた鏡視下子宮全摘+腔断端仙骨子宮靱帯固定術	青木 志保・他	449
15. 子宮移植手術	木須 伊織	457
▶ 5月号・女性のライフコース疫学研究「日本ナースヘルス研究(JNHS)」のすべて ◀		
1. 日本ナースヘルス研究の概要	林 邦彦	493
2. 日本人の閉経年齢, 早発卵巣不全や早期閉経の割合, 子宮内膜症と 子宮筋腫のリスク因子, ライフコースにおける女性ホルモン剤の 使用状況およびその特性	安井 敏之	499
3. 出生時体重, 若年時体型と2型糖尿病	片野田 耕太	507
4. 妊娠高血圧症候群	倉林 工	515
5. 卵巣性不妊と生活習慣病	倉林 工	521
6. 女性のライフコースと骨粗鬆症	倉林 工	529
7. 喫煙習慣と妊娠, 出産, 閉経	宮崎 有紀子	537
8. 日本人女性における婦人科癌罹患の実態 —日本ナースヘルス研究におけるバリデーション評価から—	高松 潔	543
9. ライフコースにおけるサプリメントの利用	岸 美紀子	551
10. 日本人女性におけるエクオール産生能	井手野 由季	556
11. 更年期症状としての物忘れと尿失禁	長井 万恵	560
12. 体重コントロールと膝痛・腰痛	伊藤 歩美	567
13. 女性のライフコースにおける夜勤と睡眠障害	寺内 公一	572
14. 女性の妊娠出産と歯の喪失	田口 明	579
▶ 6月号・周産期メンタルヘルスを深掘り! ◀		
I. 総論		
1. 周産期メンタルヘルスにおける課題と展望	相良 洋子	613
2. 妊産婦の自殺とメンタルヘルス	齋藤 知見・他	619
3. 自殺念慮のある妊産婦への対応	立花 良之	625
4. 妊産婦における向精神薬の調整・管理のポイント	渡邊 博幸	631
5. ボンディング障害と愛着障害	山下 洋	637
II. 周産期うつ病をめぐる話題		
6. 周産期うつ病の診断とその対応	福本健太郎・他	644
7. 父親の産後うつ	竹原 健二	649
8. 周産期のうつ病と栄養	山本 賢司	654

III. 精神疾患合併妊産婦の対応

9. 統合失調症	奥村 啓 樹・他	659
10. 双極性障害(双極症)	菊地 紗 耶・他	665
11. パーソナリティ障害	堀 雅 博	671
12. 不安症・強迫症	清野 仁 美・他	679
13. アルコール使用症および嗜癲行動症	樋 口 進	685

IV. 精神科・多職種との連携

14. 精神科救急への対応—周産期において精神科救急を要するとき—	長谷川 花・他	691
15. 周産期メンタルヘルス推進のための院内および 地域の医療連携体制の構築	佐 藤 昌 司	696
16. 精神疾患合併妊娠の管理にかかわるソーシャルワーカーの役割	金子 慈 史・他	703

▶ 7月号・どうする？産婦人科救急—ハイリスク患者の周術期管理— ◀

I. どうする？緊急帝王切開の決断から術後管理

1. 周産期の危機的出血, ショックバイタル症例へのチーム医療 —ICU入室まで—	谷 口 隼 人	741
2. 産科危機的出血のトータルケア—産科医の立場から—	小畑聡一郎・他	751
3. 癒着胎盤が予想される妊婦が破水・胎児機能不全等で 緊急手術になる場合の対応のポイント	熊 谷 麻 子・他	757
4. 陣痛発来後に母体の脳血管障害に遭遇した場合の対応	吉 松 淳	763

II. どうする？腹腔内出血の周術期管理

5. 異所性妊娠の腹腔内出血への対応と管理のポイント	明 樂 重 夫・他	768
6. 卵巣出血への対応—待機もしくは手術の見極め—	北 島 道 夫	774
7. 手術予定患者の卵巣腫瘍破裂への対応	五 味 陽 亮・他	779

III. どうする？細菌性腹膜炎疑い患者の周術期管理

8. 妊娠合併虫垂炎への対応	西 島 浩 二・他	784
9. 婦人科患者の骨盤腹膜炎・汎発性腹膜炎への対応	宮 崎 博 章	787
10. 血管新生阻害薬治療による腸管穿孔への対応	櫻 井 静・他	791

IV. どうする？早期の手術が必要な重症合併症婦人科患者の周術期管理

—主治医とのコミュニケーションの視点から—

11. 慢性呼吸器疾患を合併した婦人科患者への対応	岡 原 修 司	798
12. コントロール不良の糖尿病を合併した婦人科患者への対応	田 村 貴 彦	803
13. 急性期肺血栓塞栓症を合併した婦人科悪性腫瘍患者への対応	山 本 剛	808
14. 治療前の中～高度心機能障害を有する患者への対応	安 藤 太 一・他	812
15. 中等症～重症の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)への対応	加 藤 英 明	817

▶ 8月号・PMS・PMDDのすべて ◀

I. 病態・疫学・診断

1. PMS・PMDDとは何か—病態解明・治療法開発の今後の展望—	武 田 卓	853
2. PMS・PMDDの診断と疫学	尾 臺 珠 美・他	857
3. 日本におけるPMS・PMDD診療の実態調査	吉 見 佳 奈	863
4. 気分症の月経前増悪(PME)の諸相	大 坪 天 平	869
5. PMS新規診断尺度の開発	池 田 裕美枝	877

II. 非薬物療法

6. PMS・PMDDと栄養精神医学	奥 平 智 之	883
7. PMS・PMDDに対するサプリメント	小 川 真里子	891
8. PMS・PMDDに対するアロマセラピー	松 本 珠 希	899
9. PMS・PMDDに対する認知行動療法	南 房 香・他	909

III. 薬物療法

10. PMS・PMDDに対する漢方治療……………堀 場 裕 子 915
11. PMS・PMDDに対するホルモン療法
—婦人科診療におけるピットフォール—……………白 土 なほ子 921
12. PMS・PMDDに対するSSRI—精神科診療におけるピットフォール—……山 田 和 男 927
13. PMDDに対する新規薬剤開発—海外の動向—……………寺 内 公 一 933

▶ 9月号・ホルモン療法の使い分けと使用中・使用後のあるある ◀

I. 生殖可能年齢の病態あるある

1. 卵巣チョコレート嚢胞など子宮内膜症に対する
ホルモン療法の使い分けと長期使用……………金 子 明 夏・他 973
2. 子宮筋症に対するホルモン療法の使い分けと不正出血……………石 沢 千 尋・他 978
3. 子宮筋腫に対するホルモン療法と筋腫のサイズ……………鎌 田 泰 彦 983
4. 月経困難症・過多月経に対するLEPもしくはDNG療法の
使い分けと投与法と長期使用……………江 頭 活 子 989
5. 無月経に対するホルムストローム療法・カウフマン療法,
LEPの使い分けと開始時期と効果……………森 泰 輔 995
6. 多嚢胞性卵巣症候群に対するクロミフェン・レトロゾール・FSHなど
排卵誘発薬の使い分けと効果……………岩 佐 武・他 1001
7. 一般不妊治療ならびに生殖補助医療の排卵誘発・排卵トリガーの
使い分けと効果……………土信田雅一・他 1006
8. 一般不妊治療における黄体機能不全, 生殖補助医療の黄体補充の
使い分けと効果……………土 屋 貴 裕・他 1012
9. 乳汁分泌症, 高プロラクチン血症に対するホルモン療法の
使い分けと薬剤性高プロラクチン血症の管理……………合 阪 幸 三 1017
10. 妊娠中・不妊治療中の甲状腺機能低下症に対するホルモン療法の
使い分けと薬剤性高プロラクチン血症の管理……………赤 水 尚 史 1022
11. プロゲステロゲンによる早産防止効果—エビデンスの現状—……………永 松 健 1027
12. 避妊・緊急避妊・月経移動のためのホルモン療法の使い分けと効果……並 松 響 子・他 1032
13. 妊娠希望のある子宮内膜異型増殖症, 初期子宮体がんにおけるホルモン
療法—レボノルゲストレル放出子宮内システムで代用可能か—……………坂 井 健 良・他 1039

II. 閉経後ならびに周閉経期の病態あるある

14. 更年期症候群・早発卵巣不全に対するホルモン療法の
使い分けと期待される効果・投与法・長期使用……………石 谷 健 1047
15. 萎縮性膣炎・閉経関連尿路生殖器症候群(GSM)に対するホルモン療法の
使い分けと期待される効果・投与法・長期使用……………吉 形 玲 美 1053

▶ 10月号・母児を感染から守る—妊産婦の感染症アップデート— ◀

I. 注意すべき母体の感染症

1. 敗血症……………田 中 博 明 1089
2. 劇症型A群溶血性レンサ球菌(GAS)感染症……………早 田 英二郎 1095
3. 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)……………新 垣 達 也・他 1099
4. 結 核……………黒 瀬 大 地・他 1105
5. Mycoplasma hominis 感染症……………内 倉 友 香・他 1109
6. 妊娠オウム病(gestational psittacosis)……………三 塚 加 奈 子・他 1113

II. 注意すべき母子感染症

7. 母子感染総論……………森 内 浩 幸 1119
8. B群溶血性レンサ球菌(GBS)感染症……………山 岸 由 佳 1127
9. サイトメガロウイルス感染症……………谷 村 憲 司・他 1133

10. HTLV-1 感染	三 浦 清 徳	1141
11. 梅 毒	中 本 貴 人	1147
12. トキソプラズマ感染症	森 岡 一 朗	1155
13. ヘルペスウイルス感染症	木戸口千晶・他	1161
14. クラミジア感染症	岡田知之・他	1167
15. ウレアプラズマ感染症	江 頭 政 和	1173
▶ 11 月号・再発・転移をきたした婦人科がんの治療—標準治療を超えた挑戦— ◀		
1. 再発・転移をきたした難治性がん患者をチームで支える	橋口さおり・他	1209
I. 子宮頸癌		
2. 根治的放射線治療後の骨盤内残存腫瘍の治療 —手術・化学療法選択のポイント—	今 井 雄 一・他	1215
3. 放射線照射野外の再発・転移腫瘍の治療 —手術・放射線・化学療法選択のポイント—	古 澤 啓 子・他	1225
4. 再発・転移腫瘍への放射線治療の適応と効果	熊 澤 琢 也・他	1231
II. 子宮体がん・子宮肉腫		
5. 進行・再発子宮体がんへの手術療法の適応	加 藤 一 喜	1237
6. 再発・転移腫瘍への化学療法のトピックス	原 野 謙 一	1241
7. 再発・転移性腫瘍へのホルモン療法の位置づけ	吉 岡 恵 美・他	1247
8. 再発子宮体がんに対する放射線治療	磯 橋 文 明	1253
III. 卵巣がん・卵管癌・腹膜癌		
9. プラチナ感受性再発腫瘍治療のトレンド	佐々木 徹・他	1259
10. プラチナ抵抗性再発治療の進歩	野 村 弘 行	1265
IV. 外陰がん		
11. 腫瘍切除後の局所再発治療の現状—再手術か放射線治療の選択—	若 橋 宣・他	1273
12. 局所が制御されている遠隔転移症例への化学療法	有 吉 和 也・他	1279
V. 絨毛性疾患		
13. 再発・難治性絨毛性腫瘍への治療戦略 —免疫チェックポイント阻害薬を含めて—	井 篁 一 彦・他	1285
▶ 12 月号・子宮内膜・子宮内腔とその異常 ◀		
I. 子宮内膜の基礎		
1. 子宮内膜の月経周期	奈 良 亮 謙・他	1321
2. 子宮内膜におけるアポトーシス	谷 口 文 紀	1327
3. 子宮内膜症の病因—逆流経血と腹腔内 NK 細胞の免疫応答—	山 本 楨 平・他	1333
4. 子宮内膜の妊娠性変化/免疫寛容	村 田 紘 未・他	1339
5. 子宮内膜ゲノムに注目したがん化メカニズム	高橋宏太郎・他	1343
II. 子宮内膜・子宮内腔の異常と治療		
6. 子宮内膜症における正所性内膜	中島真理恵・他	1350
7. 慢性子宮内膜炎の診断と治療	山中彰一郎・他	1355
8. ART における子宮内フローラと子宮内膜受容能検査 (ERA)	京 野 廣 一・他	1359
9. 子宮内膜菲薄化状態における着床障害とその治療	久須美真紀・他	1365
10. 不育症・不妊症における子宮鏡検査で治療すべき病変	澤 田 祐 季・他	1371
11. 閉経期ホルモン療法における黄体ホルモン製剤と子宮内膜	寺 内 公 一	1376
12. 妊娠高血圧腎症と子宮内膜の脱落膜形成の関連	根 本 一 成・他	1382
13. 妊孕性温存手術後の癒着胎盤, RPOC	真 壁 健・他	1387
14. 子宮内膜異型増殖症・子宮体がんのリスク因子と予防	河原井麗正・他	1392

—原 著—

ChatGPTは婦人科悪性腫瘍治療にどのように使用できるのか？	隅野幹齊・他	201
レルゴリクスの子宮全摘術待機症例に対する効果と副作用の検討	齋藤文香・他	720
CD138検査値に基づいた慢性子宮内膜炎診断基準に関する考察	片野美菜子・他	949
講義後のアンケートを用いた性教育に関する後方視的研究： 受講者の評価とその影響，性教育プログラムの構築方法について	橋本悠平・他	1301

—症 例—

Fetal vascular malperfusionの1例—胎児ヘモグロビン(HbF)と αフェトプロテイン(AFP)との関連—	春石真菜・他	97
レンパチニブおよびベムプロリズマブ併用療法後に 大動脈解離が生じたと考えられる子宮体がんの1例	東元孔志・他	337
機能性ゴナドトロピン産生下垂体腫瘍が原因で生じた卵巣嚢胞に対し くり返し卵巣腫瘍摘出術が行われた1例	太田 肇・他	593
妊娠初期に間葉性異形成胎盤を疑い，生児を得た1例	杉野健太郎・他	835
子宮内膜症に伴う慢性骨盤痛に対して交番磁界を用いた治療機器(AT-04)が 有用であった1例	合阪幸三・他	1069
若年女性に発症し，妊孕性温存手術を施行後BEP療法が奏効した 卵黄嚢腫瘍の1例—胚細胞腫瘍に審査腹腔鏡を試みて—	井田千晶・他	1189
分娩時に発生した肛門の損傷を伴わない直腸腔裂傷の1例	澤本康平・他	1407

—漢方よもやま話—

漢方薬と私	能 勢 充 彦	88
桂枝茯苓丸	能 勢 充 彦	192
加味逍遙散	能 勢 充 彦	328
当帰芍薬散	能 勢 充 彦	466
半夏厚朴湯	能 勢 充 彦	584
酸棗仁湯	能 勢 充 彦	712
乙字湯	能 勢 充 彦	824
当帰四逆加呉茱萸生姜湯	能 勢 充 彦	940
補中益気湯	能 勢 充 彦	1060
十全大補湯	能 勢 充 彦	1180
女神散	能 勢 充 彦	1292
葛根湯	能 勢 充 彦	1398

—専門医・認定医をとろう！私の体験記—

生殖医療専門医(日本生殖医学会)	浦 田 陽 子	94
日本抗加齢医学会専門医(日本抗加齢医学会)	尾 臺 珠 美	198
日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医(腹腔鏡)(日本産科婦人科内視鏡学会)	黒 田 健 治	334
性感染症学会認定医(日本性感染症学会)	木 寺 信 之	472
細胞診専門医(日本臨床細胞学会)	近 内 勝 幸	590
生殖補助医療胚培養士(日本卵子学会)	小野寺 優 美	718
周産期専門医(母体・胎児)(日本周産期・新生児医学会)	針 金 永 佳	830
日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医(子宮鏡)(日本産科婦人科内視鏡学会)	小 芝 明 美	946
女性のヘルスケア研修会修了者(日本女性医学学会)	櫻 井 香 織	1066
婦人科腫瘍専門医(日本婦人科腫瘍学会)	紙 谷 菜津子	1186

日本内視鏡外科学会技術認定医(産科婦人科領域)(日本内視鏡外科学会)	曾根 献文	1298
日本骨粗鬆症学会認定医(日本骨粗鬆症学会)	粒来 拓	1404

—弁護士が答えます！法律にまつわるあれこれ—

人工妊娠中絶についての配偶者の同意(夫からのDVによる妊娠)の考え方は？	秦 奈峰子	92
未成年から人工妊娠中絶の相談を受けたとき、何に気をつければいいのか？	秦 奈峰子	196
患者さんが診察に納得されず、診察室から出て行ってくれないときの対応は？	福原 正和	332
診察中に録音をする患者さんがいるのですが、 拒絶できるものなのでしょうか？	福原 正和	470
患者さんの迷惑行為にどうやって対処したらよいのでしょうか？	水上 裕嗣	588
合併症、副作用をどこまで説明すべきでしょうか？	水上 裕嗣	716
医療ADRとはどんな制度でしょうか？	山田 隆史	828
パワハラととられないように指導するには何に気をつければよいのでしょうか？	山田 隆史	944
日本で未認可の薬が有効なので使いたいけれど、どうすればいいのか？	栗野 公一郎	1064
認知症や精神疾患がある患者さんから同意をもらうとき 何に気をつければいいのか？	栗野 公一郎	1184
診療時間について患者さんから要望があったとき、 どこまで対応すればいいのか？	秦 奈峰子	1296
外国人の患者さんの受診が増えて対応に困っています。 診療を断ってもよいのでしょうか？	秦 奈峰子	1402